

2/21(土) 第4回菊池市「わんぱくひろば」

菊池市わんぱくひろば（菊池市教育委員会主催）が開催されました。市内の小学生を対象に、34グループ、約160人の参加により、ウォークラリー形式で実施されました。

午前9時30分から、2～7人でチームを作り、菊池市中央公民館前をスタート。市民広場（旧ゲートボール場）から雲上宮、多目的運動公園、木庭城跡、弁財天、古耕精舎塾跡、北宮阿蘇神社、そして中央公民館までの約10kmを歩きました。子どもたちだけのチームや保護者も一緒に参加するチームもあり、中には、子どもたちの元気に負け、大人の方が歩き疲れる様子もありました。参加者は、春先の好天にも恵まれ、心地よい汗とともにゴールしていました。

また、運営は、菊池市青少年育成推進員会、菊池市体験活動推進協議会の皆さんがスタッフとして協力しました。さらに、菊池高校と菊池女子高校からも22人の生徒がボランティアとして参加し、大会を支えました。ご協力、ありがとうございました。



武光公騎馬像前で記念撮影する参加者

2/21(土) 松田麻衣さんが全国漢字かるた大会で優勝



全国漢字かるた大会（幼年国語教育会主催、日本漢字能力検定協会・読売新聞東京本社・登龍館後援）が、東京都のすみだリバーサイドホールで行われ、福本保育園の松田麻衣さんが、4歳の部の諺かるた、俳句かるたの2部門に出場し、見事、両部門とも優勝しました。この大会は、各地の地区大会を勝ち上がってきた強豪が集うもので、先に行われた地区大会同様、諺かるた・俳句かるた・小倉百人一首の3部門が年齢別に行われました。

松田さんは「たくさん練習して、優勝できたので、うれしかったです」と優勝の喜びを笑顔で話してくれました。

諺かるた、俳句かるたの両部門で優勝した松田さん

2/27(金)

孔子の里を泗水中学校の生徒が慰問

介護老人保健施設 孔子の里で、琴の演奏会がありました。今回の演奏会は、泗水中学校の選択教科で音楽選択をしている生徒たちからの要望で行われたもので、3年生にとっては最後の授業となりました。

「さくらさくら」「うさぎ」「ひなまつり」の3曲の演奏がされると、利用者や職員の皆さんは、琴の美しい音色に聴き入っていました。最後に、利用者の一人が、「今日は、ありがとうございました」とお礼の言葉を述べました。

最後の授業となる演奏会で、琴を演奏する泗水中の生徒たち



2/20(金) 「万句のふるさと菊池」の俳句・短歌、最優秀賞を表彰

「万句のふるさと菊池」の表彰式が七城公民館で行われ、最優秀賞受賞者に賞状と記念品が贈られました。菊池市教育委員会が、熊本県内および友好・姉妹都市の小・中学生から俳句と短歌を募集したもので、昨年を上回る俳句5,452句、短歌1,020首の計6,472の作品が寄せられました。4人の審査員によって選ばれた200の入賞作品は、冊子「月松（げっしょう）第3号」にまとめられ、各学校などに贈られました。

なお、冊子は、隈府在住の泉雄一さんの表紙絵と題字によるもので、タイトルの「月松」は、菊池氏21代重朝公の歌にちなんで付けられたものです。最優秀賞受賞者とその作品は、次のとおりです。（敬称略）

最優秀賞を受賞した小・中学生



平成20年度「万句のふるさと菊池」入賞句・歌集（最優秀賞）

俳句の部

小学校低学年

いねかりではじめてもったこわいかま
七城小学校1年 かなみつるな
かがみさき海風（うみかぜ）ふいて秋がくる
鹿児島県龍郷町立円小学校1年 塩田 萌
雪だるま目をつけたら動くな
隈府小学校3年 西山美里
サンタさんすがたを見たいなどんなだろ
水源小学校3年 来海雄司
少しずつ色づくもみじきれいだな
花房小学校3年 藤本琉楓
もみじの葉真っ赤（まっか）な顔で秋をよぶ
鹿児島県龍郷町立円小学校3年 酒井里菜

小学校高学年

満月が日に日にかたち変えていく
隈府小学校5年 本田駿介
ホームラン入道雲へ一直線
隈府小学校6年 安武大和
きれいだな海が鏡に見える夏
鹿児島県龍郷町立龍瀬小学校6年 永井颯奈
赤とんぼ夕日しずむとどこへゆく
隈府小学校5年 阿部瑠香
朝つゆのしばふに子犬放しけり
隈府小学校4年 高木智章
秋の日にねこと私が見る夕日
隈府小学校6年 坂本侑莉花
声ひびく卒業式の体育館
植木町立田原小学校6年 田内希実
日に日にと暗さが増すよ秋の暮れ
菊陽町立菊陽西小学校6年 山本颯大
寒い朝めざまし時計なりつつく
隈府小学校5年 松原佑華

中学校

丘の上夕焼け色のバス通る
和水町立菊水中学校3年 荒木 舞
枯れ葉落ち山は少しだけやせたよう
荒尾市立荒尾第四中学校2年 橋本好美

校庭に秋の気配がしのびより
泗水中学校3年 渡辺一史
赤トンボ帰ってきたかなおばあちゃん
熊本市立竜南中学校3年 佐々木史花
夏空にうなりを上げるフルスイング
長洲町立腹栄中学校3年 竹下亮太
汗だくのシャツが熱気とからみつく
長洲町立腹栄中学校3年 松野夏輝
夏の空バトンを受け取り疾風（かぜ）になる
長洲町立腹栄中学校3年 山本柚里佳
宵闇（よいやみ）の奥から香るきんもくせい
七城中学校3年 甲斐愛未
梅雨（つゆ）明けの空の青さに背伸びかな
菊池南中学校3年 齋藤文子

短歌の部

小学校低学年

ドキドキでまってるぼくはぜっこうちょう
まかせてくれよぼくはアンカー
泗水西小学校3年 北田京蔵

小学校高学年

弟がいつもわがまま反（はん）こう期（き）
ねているときはかわいいえ顔（がお）
河原小学校4年 林優里咲
寒い夜みんなが集まる父のふとん
おしくらまんじゅう出されてたまるか
泗水西小学校4年 坂本皓哉

中学校

「それじゃあね」別れのときの一言（ひとこと）が
引越す僕の心に残る
西原村立西原中学校2年 本田恵太
このタスキ次へ次へとつなぎ合う
一人ひとりの思いをのせて
旭志中学校2年 東 優也
暑さにも負けじと背すじをピンと立て
太陽見上げ咲くひまわりよ
熊本市立竜南中学校3年 荒牧純子